

別記様式(第5関係)

## 会 議 録

会議の名称	第5回西東京市高齢者保健福祉計画検討委員会
開催日時	平成20年9月9日(火曜) 午後2時55分から午後4時5分まで
開催場所	西東京市役所保谷庁舎 防災センター6階 講座室2
出席者	(委員) 北澤委員、畠山委員、平野委員、陸名委員、阿委員、須加委員、橋岡委員、五十里委員、織田委員、豊富委員、齊藤委員(欠席:中村委員) (事務局) 高齢者支援課主幹 以下 3名 (傍聴) 1名
議題	1 第4回会議録の確認について 2 次期計画ビジョン・構成の検討について 3 その他
会議資料	1 高齢者保健福祉計画検討委員会第4回会議録 2 西東京市高齢者保健福祉計画「計画ビジョンと基本方針(案)」 3 次期計画「基本方針と施策の方向」体系図 4 高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定の枠組み(9月)
会議内容	全文記録 発言者の発言内容ごとの要点記録 会議内容の要点記録

### 1. 開会

### 2. 配布資料の確認(事務局)

### 3. 議題

#### (1) 第4回会議録について

座長: 第4回会議録の内容について確認をお願いしたい。

委員: 会議録2頁の上から4行目、当事者の前に「介護者家族の」を追加、5行目、スキルを「体制」に変更してほしい。3頁の上から7行目、相談業務の前

に「特に高齢者に関しては」を追加ほしい。

座長：3箇所修正することとする。

## (2) 次期計画ビジョン・構成の検討について

事務局：資料2・資料3について説明

事務局：事前質問への回答であるが、資料3「地域で支え合い、安心して暮らせるまちの実現」の中の「多様な住まいの整備・確保」については、第3期の計画書にも養護老人ホームの維持、認知症高齢者のグループホームの確保などが記述されており、基本的にはこのような内容になる。「安心・安全のまちづくり」とはどのようなものかという質問については、災害時の要援護者登録制度を防災計画の中で検討しているところである。また、振り込み詐欺の対応など、支え合いネットワークなどの中でも防いでいきたいところである。

座長：先ほどの介護保険の方は運営協議会で言葉として整理した方が良いという意見があったが、こちらの方も検討して欲しい。ご質問や意見などいかがか。高齢者を取り巻く時代の変化や課題認識でも意見があったらお願いしたい。

委員：目標7 安心・安全というところで、実際、振り込み詐欺などは、その場になると非常にだまされやすいので、そのあたりをもっと強化をお願いしたい。

委員：このビジョンの中に、いつまでに何をするというスピードが欠けているので、少しビジョンの中に入れてほしい。

座長：今年の4月から後期高齢者医療制度ができ、後期高齢者という区分やくくり方ができたが、計画も年齢的なくくりで分けた方がよいのか。

委員：昔の高齢者は地域の重鎮として枯れた孤高の人という見方であるが、最近の高齢者は生き生きしているので地域の持つ高齢者のイメージが変わってきている。75歳といっても生き生きしているので、後期高齢者、団塊の世代という枠に入れられない方が良いと思う。世代間を超えた取り組みでスピードを持ったビジョンがあると良いのではないかと。

座長：介護の認定者も75歳を超えている方が多い。施策を絞って具体的な目標を明確にして、平成26年度までにこれをやるというものを作り、スピードを

持った目標がある といいと思う。

委員：後期基本計画も策定中で、すばらしいビジョンや目標が掲げられている。認知症サポーターはオレンジの腕輪をしているが、高齢者はそういう状況を知らない人が多い。認知症や防犯、災害時も近所の人で助け合う必要がある。目標に近づけるには具体的にどうしていくが考えていくことが重要である。

座長：4期の目標として特に実現性のあることに絞っていくことがいいのではないかと意見があったがいかがか。

委員：基本方針に沿った中で、具体的な目標を考えていくといいのではないか。

委員：計画ビジョンの「安心して暮らせるまち西東京」の中に3つのビジョンがあるが、すべての高齢者が努力目標のように思える。行政としてどうあるべきかと思うがいかがか。また、抽象的な言葉が並んでいるので、具体的な達成感を味わえるものの方がよいと思う。

座長：状態像が目標となっているので、行政が施策として何をするかというものが不足している。

副座長：状態像はわかりづらいので、「その人らしく自立した」は「要介護状態にならない」などにわかりやすくして欲しい。この資料では、介護保険計画が高齢者保健福祉計画の一部として位置づけられているが、相互が補完的な関係にあるはずである。

事務局：計画の位置付けとしては、高齢者保健福祉計画は介護保険事業計画を包含したものとされているので、そのような意味から一部とみえているのかもかもしれない。西東京市の高齢者に対する施策展開は、両方同じ方向性である必要はあると考えている。

座長：4期でどの部分を重点的に取り組むべき課題だとお考えか。在宅での療養環境をどう整備するかまで入れるか。認知症の高齢者のケアの目標値として設定するなどいかがか。マンパワーの育成や確保を施策として明確に入れていくとかが必要ではないか。4期の中での重点を位置づけた方がよいのかと思う。

副座長：達成年度と数値目標を設定することであろう。

委員：高齢者虐待は深刻になりつつあると思うが、まずは高齢者虐待のことをピックアップしたら良いのではないか。

座長：隠されたことを明らかにしていくということでは、相談件数を明らかにすることも重要である。また、認知症の家族の会の人数を増やすといった具体的な目標を達成目標として上げるということであるか。

委員：基本方針の1と3は似ているので、これらをまとめると目標を設定できるのではないか。

委員：最初は介護をする際、どこに相談してどこに依頼したらよいかかわからなかった。なるべく在宅で生活するための情報を共有できる体制、つながる体制を作り、ビジョンを入れてほしい。

委員：第3期にも地域支えあい体制の充実とありますが、第4期で施策の構成を考えた場合、認知症高齢者のケアでいえば、相談体制を地域でネットワーク化するには、まず専門研修を受けている人を西東京市の人材として、家族支援も含めて相談ができるということを別の施策に当てはめていくことも重要ではないか。全く同じ施策を盛り込むことは無いと思う。

委員：高齢、敬老金の配布時期であるが、77歳の方は元気でしっかりしている、80過ぎると一人暮らしは大変であると感じた。包括の存在を知らない方も多い。一人暮らしや地域の支え合い体制や、認知症などをまとめて数値目標をたてられるといいと思う。

委員：協働推進センターが動き出しているが、早く横断的にまとまっていくといい。

座長：次回は、具体的な計画が出されると思うが、どういった具体的な目標を立てていくか検討してほしい。具体的に成果が見える計画となるよう少し整理して提案してほしい。

### (3) その他

事務局：次回会議は、10月7日（火曜）午後2時45分から、場所は防災センター6階講座室2で開催となる。

### 4. 閉会

以上